

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-83C	14-129	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
The association of alcohol consumption with mammographic density in a multiethnic urban population. 都市部の多人種コホートにおける飲酒量とマンモグラフィ乳腺濃度の関係		
<b>執筆者</b>		
Quandt Z, Flom JD, Tehranifar P, Reynolds D, Terry MB, McDonald JA		
<b>掲載誌</b>		
BMC Cancer. 2015;15:1094. doi: 10.1186/s12885-015-1094-3.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
マンモグラフィ、乳腺濃度、飲酒、乳がん		25777420
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b>		
飲酒は乳がんの危険因子である。いくつかの研究で飲酒と乳腺濃度の間に弱い相関が報告されているが、この関連を人種別に検討した研究はほとんどない。		
<b>方法：</b>		
アフリカンアメリカン 42%、アフロカリビアン 22%、白人 22%、ヒスパニックカリビアン 9% (計 189 名、年齢 40-61 歳)からなる都市部のコホートからデジタルマンモグラフィを用いて乳腺濃度を評価した。飲酒量と乳腺濃度(percent density, dense area)の関係を検証した。線形回帰を用いて、飲酒量別に乳腺濃度を比較した。交絡因子として、年齢、BMI、避妊薬の使用、乳がんの家族歴、閉経、喫煙、出生地、人種、初産年齢、出生数を調整した。		
<b>結果：</b>		
現在飲酒者は 50%であった。多変量調整後、飲まない群と比較して、週に 7 杯超飲む女性は percent density が有意に高かった(7 杯/週超群 $\beta=8.2$ , 95%CI 1.8-14.6、7 杯/週以下群 $\beta=-0.5$ , 95%CI -3.7-2.8)。多変量調整後に飲酒量と dense area の間に正の相関を認めた(7 杯/週超群 $\beta=5.8$ , 95%CI -2.7-14.2、7 杯/週以下群 $\beta=-0.1$ , 95%CI -4.4-4.2)。飲酒量と percent density との関連について人種差は認められなかった。年齢と BMI を連続変量として調整したモデルで、非飲酒群に比べて、BMI25 未満かつ 7 杯/週超の群は percent density が 17%(95%CI 5.4-29.0)高かったが、BMI25 以上群および BMI30 超群ではこの傾向は認めなかった。		
<b>結論：</b>		
多人種からなる女性のコホートでは、7 杯/週超の飲酒群、特に BMI が 25 未満の群で、percent density が高かった。		